



What's
LEON for you?
**Special
Interview**

創 刊当初、LEONはメンズファッション業界から、かなり否定的な目で見られていました。それは、これまでの男性ファッションというのは、洋服を売るために歴史やモノ作りへのこだわりは出すけれど、「モテる」という人間の原始的な欲求を声高に謳うことは絶対にしなかつたからです。それを簡単にやっつけてしまったこの雑誌は、ある意味、嫉妬の対象。だったのかもしれないね。でもLEONはそれを生真面目に貫き、コンセプトも変えず、モデルも変えず、でもほかのジャンルのファッションを決して否定することなく、ずっと17年間続けてきましたよね。それが読者の信頼を勝ち得たのではないのでしょうか？ そもそもファッションとは、恋愛のためにお金を使い贅沢し、お洒落をするこ



エッセイスト/服飾史家 KAORINAKANO

中野香織 05

Profile

東京大学在学中に旅行ライターとして文筆業デビュー。服飾史への深い造詣を活かし、著書も多数発表。メディアを問わず多媒体で記事を執筆する。現在は日本経済新聞で連載中。

とから始まったもの。そういう意味では、すごく正しいトコロに目をつけたのではないのでしょうか。もちろん、ファッション以外にも「寿司ジャン」なんてライフスタイルに関する提案も同じこと。「お寿司を食べながらシャンパンを飲めたらなあ」という欲望にストレートな提案が、ひとつの文化を作ってしまったよね。快楽に思っただからこそ、読者にも素直に受け入れられ、結果、文化にまでなり得たLEONは、まさに素直な欲望が満載の「オトコの夢のユートピア」なのだと思います。

“オトコの夢の
ユートピア”